

平成 21 年度農林水産物等海外販路創出・拡大委託事業
(海外展示・商談活動(アラブ 首長国連邦(Gulfood 2010)))

実施報告書

平成 22 年 3 月

株式会社近鉄エクスプレス販売

(農林水産省委託事業)

目次

はじめに	3
第1章 Gulfood2010 概要	
1. 事業趣旨	4
2. 事前の抽出課題と事業目標	4
3. 開催概要	
(1) 展示会プロフィール (2010 年実績)	5
(2) 会場概要	6
(3) 日本パビリオン出展者リスト	7
(4) 会期スケジュール	8
第2章 Gulfood2010 における日本パビリオンの運営	
1. 事業全体の流れ	10
2. 運営内容の詳細	
(1) 出展者募集	10
(2) 出展者説明会	11
(3) 出展品について	12
(4) 出展品の物流	13
(5) 日本パビリオンの設営	13
(6) 通訳の配置	18
(7) 集客イベント	18
(8) 来場者事前誘致	21
(9) 会期中の来場者誘致やプロモーション	23
3. 会期中の商談の様子 (写真による紹介)	25
第3章 セミナーレセプションの運営	
1. セミナーレセプションの開催概要	
(1) セミナーレセプションの趣旨	26
(2) 開催情報	26
(3) セミナーレセプションの当日の様子	26
2. セミナーレセプションの様子 (写真による紹介)	28
第4章 成果と課題	
1. 出展者の評価 (会期1週間後の出展者総合アンケート)	
(1) 出展者説明会に関するアンケート	29
(2) 会期後アンケート	29
(3) 今後の展示会運営の質の向上のための満足度アンケート	37
(4) その他気づいた点	41
2. 成果	43
3. 課題	43
4. 総評	44
※ 参考資料	45

はじめに

本報告書は、平成 21 年度農林水産物等海外販路創出・拡大事業により日本パビリオンの設置、運営を行ったアラブ首長国連邦のドバイにおける国際食品見本市「Gulfood 2010」への出展事業実施概要を取りまとめたものである。

農林水産省では、農林水産物等の輸出額を平成 25 年までに一兆円規模にするという政府目標の実現に向け、様々な輸出促進対策事業を実施している。農林水産物等海外販路創出・拡大事業(海外展示・商談活動)は、我が国の農林水産物や食品の海外への販路を新たに創出、またはそれを拡大することを目的とし、輸出志向のある生産者、メーカー、商社及び関連団体等に対し、海外における展示・商談活動の場を提供、支援するものである。

本事業においては、近年急速な発展とともに国際社会から注目をあびているドバイ市場の特性を考慮しながら、開催都市ドバイのみならず、中東全域及び北アフリカや、トルコなど同じイスラム圏諸国からの集客が可能な Gulfood 2010 において、日本パビリオンを設置、出展 14 者への商談支援を行った。

ドバイにおける食材市場は、居住者の 8 割を占める外国人労働者や、政府として積極的に誘致の取り組みを行っている観光客の増大などの後押しを受けて、多様化と順調な需要の伸びを見せている。また、中東への商流・物流の玄関口として、重要な機能を果たしているドバイ市場への販路を確保、拡大することは、結果として周辺諸国 20 億人のマーケットへの足がかりを構築する布石となるものと言われている。

本報告書が、今後同地域への農林水産物・食品の輸出を検討する関係各位にとって参考となれば幸いである。

なお、本事業は農林水産省が株式会社近鉄エクスプレス販売に委託して実施した。

平成 22 年 3 月

第1章 Gulfood 2010 概要

1. 事業趣旨

近年、世界的な日本食ブームの広がりや新興国の経済発展に伴う富裕層の増加等により、高品質な我が国の農水産物・食品の輸出拡大のチャンスが増大している。このような中、輸出志向のある農水産物・食品の生産者等が中東及び近隣諸国へ輸出するための足がかりとして、中東・北アフリカ商圏の玄関口であるドバイにおける国際食品見本市に日本政府パビリオンを設置し、出展者の商談成約に向けた活動を支援することで、同市場における販路の創出・拡大を図るとともに、広く日本食・日本製品の紹介を行うことを本事業の趣旨とした。

2. 事前の抽出課題と事業目標

ドバイは、一部の超富裕層(ローカルアラブ人)、海外からのホワイトカラー駐在員、所得の低い一般ワーカーとで三層形成されており、明らかにクラスター分析が必要であるが、この数年の富裕層における日本食への関心の高まりや、中流階層の安心で安全な食材への需要は顕著に見ることができる。

また、観光客やビジネスビジターなどを対象としたホテルは、今後ますます激化するホテル集客戦線の中で日本食レストランを高く位置づけしており、人口そのものは500万人に満たない中規模都市ながらも、国際都市としての益々の発展の中で、今後日本食、日本食材の需要が大きく期待される市場であるといえる。同時にドバイは「中東の玄関口」と称されており、トレンドの発信基地であるだけでなく、商流・物流のハブとして機能していることから、ドバイを通して日本食文化や日本産食材を広く中東全域に拡散していくことが可能である。

なお、ドバイは、一般的に敬遠されがちな厳格なイスラム国とは異なり、自分たちの宗教、文化は守りつつ、他の宗教や文化の共存も寛容に受け入れる土壌があり、食の市場は今後益々多様化していくものと思われる。以上に鑑み、本展示会に取り組むにあたっては、以下の点を視野に入れながら出展者の支援を行った。

宗教上の食のタブーが存在する(イスラムのシャリア・コンプライアンス)富裕層といわれるローカルアラブ人はトレンドに敏感で、日本食への関心が高まっている。また、ドイツ、フランス、イギリスを中心としたヨーロッパ系ホワイトカラーや、建設ブームを背景としたアジア系ホワイトカラーの流入により、食文化は益々多様化が進んでいる。

政府が積極的に進める観光客誘致(数年後には年間1,000万人規模へ拡大)や、イベント、

国際会議の誘致にともなう外国人向けホテル、レストラン需要が拡大している。空港施設を始め国内輸送インフラは整っており、ロジスティクス(物流)上の問題はあまり考えられない。生鮮食材の輸入に関しても北米、ヨーロッパなどの他国と比較し規制は緩やかである。

同展示会においては上記を考慮の上、以下の諸点を企画、実施することで密度の高いプロモーションを行うことを目標とした。ビジネスマッチングの機会を設け商談を円滑にできるよう輸入業者、卸業者を中心事前の集客、誘致活動により、より多くのターゲット来場者の確保。DM や、主催者の協力のもと EDM (Electronic Direct Mail) を配布・送信、弊社作成のウェブサイト誘致するなど「囲い込み」戦略による商談率の向上を図った。

他国ナショナルパビリオンと差別化し、日本チームとしての一体感の創造、来場者への良品イメージの植付け、出展者間の相乗効果を計る料理デモの開催や試食品による日本食文化や食材へのなじみ感を創出した。また、出展者に対してはイベント食材内容に対するわかりやすい情報提供と出展品全品目の輸入規制を事前に確かめるなどの配慮を行った。

3. 開催概要

(1) 展示会プロフィール

開催地	ドバイ・アラブ首長国連邦	
展示会名	Gulfood 2010 The 15th Gulf Food, Hotel and Equipment Exhibition and Salon Culinaire	
HP	http://www.gulfood.com/	
開催期間	2010年2月21日(日)から24日(水)までの4日間	
開催時間	21日(日) から 23日(火)	11:00 から 19:00
	24日(水)	11:00 から 17:00
会場	ドバイ国際会議見本市センター	
主催	Dubai World Trade Centre L.L.C. (ドバイワールドトレードセンター)	
会場面積	総計 60,777 m ² (総展示面積)	
出展者総数	3500 社以上	
参加国	81 カ国以上	
来場者数	55,379 人 (153 ヶ国) (前年比+18%)	
出展品目	飲料 (ノンアルコール)、一般食品、加工品、ハラール食品、魚貝類、冷凍・冷蔵食品、調味料、菓子、フルーツ、野菜、米など	

(2)会場概要

会場名： Dubai International Convention and Exhibition Centre

住所： P.O. Box 9292, Dubai, United Arab Emirates

TEL： +971-4-308-6081/6062/6047/6968

FAX:+971-4-318-8607

HP： http://www.dicec.ae/Default_en_gb.aspx



<展示会場へのアクセス>

ドバイ世界貿易センターは、ドバイ中心部から約5～6kmに位置しており、ドバイ国際空港から会場までは約9～10km。交通手段は主に車となるが（地下鉄は現在建設中）、非常に渋滞の激しい地域である。9～10kmの距離でも日中は1時間近くかかる場合もある。

ドバイではタクシー利用者に比べタクシーの数が極端に少なく、路上でタクシーを拾う際、タクシー運転手が乗車拒否をする可能性もあったので、出展者にはタクシーを予め手配・予約することをお勧めした。



(3) 日本パビリオン出展者リスト

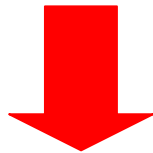
(出展者敬称略)

No.	会社・団体	出展品の一部
1	青森県農林水産物輸出促進協議会	りんご、ほたて、りんごジュース、黒にんにく、味噌汁
2	アディレクト株式会社	和牛
3	株式会社沖縄海塩研究所	食塩、にがり
4	株式会社神戸	スルメイカ、ぶり、ほたて貝
5	金印物産株式会社	冷凍わさび、わさび茎、生おろしわさび、粉末わさび、わさび&寿司ソース
6	小松水産株式会社	しらす、ひもの、ちりめん
7	ジェムノン合同会社	乾燥野菜、野菜ペースト
8	株式会社三久食品	粉わさび、生わさび、わさびドレッシング、わかめ餅、生姜焼き／照焼き／焼き鳥のタレ、和菓子、サラダ、米菓、だしパック、かつお節、だしつゆ
9	全国農業協同連合組合会	精米、青果物、果汁飲料、あんぽ柿
10	株式会社高岡屋	焼海苔、調味酢
11	日清オイリオグループ株式会社	ヘルシーリセッタ
12	有限会社原水産	うに、まぐろ
13	宮坂醸造株式会社	生味噌、味噌、即席味噌汁、乾燥味噌、粉末味噌、無塩粉末味噌、乾燥ゆず／みつば、フリーズドライ食品
14	株式会社ライスアイランド	雑穀ブレンド、米麺、穀物パフ

(4)会期スケジュール

	2月20日(土)	2月21日(日)	2月22日(月)	2月23日(火)	2月24日(水)
10:00		10:00 日本パビリオンオープン			
10:30		朝の連絡会			
11:00		11:00-19:00 展示会開催時間			11:00-17:00 展示会開催時間
			11:00-12:00 準備		
12:00			12:00-13:00 料理ショー		
		12:30-13:00 準備		12:30-13:00 準備	12:30-13:00 準備
13:00		13:00-14:00 料理ショー		13:00-14:00 料理ショー	13:00-14:00 料理ショー
13:30	Hall 5 前集合 オリエンテーション 日本パビリオン案内 出展準備 *出展者パス配布 *出展物などの搬入 *出展準備 *通訳の紹介・打合せ		13:30-14:15 出展者デモ 神戸様		
14:00					
		14:30-15:15 出 展者デモ 沖縄海塩様		14:30-15:15 出展者デモ 日清オイリオ様	14:30-15:15 出展者デモ 宮坂醸造様
15:00					
16:00		16:00-16:45 出展者デモ 原水産様		16:00-16:45 宮坂醸造様	
17:00			16:30 デリリアンケート 配布		
					17:00 日本パビリオン 終了
18:00		18:00 デリリアンケート回収			17:00-18:00 撤収作業
					18:00 打ち上げ会 解散
19:00		19:00 日本パビリオン クローズ			
19:30			19:20 総合受付集合		
20:00			20:00-22:00 レセプション		
21:00					

<展示会場マップ>



日本パビリオンと周辺の他国パビリオン

